

からこんにちは！

小学校

3年ぶりの開催となった

江府町スキー教室

1月18日(水)～20日(金)は、5・6年生で「江府町・西ノ島町児童交歓スキー教室」に行きました。このスキー教室は、次の3点をねらいとして、長年に渡って続けられている行事です。

- ①江府町の友だちに積極的に話しかけよう。また、お世話になる方に、あいさつをしたり、感謝の気持ちを伝えたりしよう。(交流)
- ②時間厳守、身の回りの整理整頓、公共の場でのマナーに気を付けよう。(集団行動)
- ③あきらめずに挑戦し、スキーを上達させよう。

1日目は、江府学園(江府町小中一貫校)を訪問しました。5・6年生や先生方に温かい歓迎会を開いていただいた後、一緒にレクリエーションをして、楽しい時間を過ごしました。初めは少し緊張している様子が見られましたが、交流をしていく中で次第に打ち解けていきました。2日目は、鏡ヶ成スキー場で、スキーをしました。ほとんどの人がスキー未経験

者でしたが、インストラクターさんの丁寧な指導と江府学園5・6年生の優しいアドバイスに助けられ、あつという間に上達しました。3日目は、西ノ島小児童のみでスキーに挑戦しました。前日の学びと経験を生かし、思いっきりスキーを楽しむ子どもたちの姿が印象的でした。江府町を発つ際には、江府学園の5年生が見送ってくれました。



▲鏡ヶ成スキー場の雪を楽しむ児童

今回のスキー教室は、江府学園5・6年生との仲を一層深めるよい機会になりました。また、集団行動のルールを守ることや困難な課題に立ち向かうことなど、今後の学校生活を送る糧となる貴重な経験をたくさんさせていただきました。西ノ島町関係各所の皆様・保護者の皆様に支えられ、スキー

教室の全日程を無事に終えることができました。ありがとうございました。

イカさばき体験

江府町との交流学习ではお互いに学習で触れたその土地の特産品を交換し合っています。江府町からは江府学園の児童・生徒が作ったお米をいただきました。本校からは例年、イカさばき体験でイカの一夜干しを作り、それを送っています。



▲はじめは思うようにいかず悪戦苦闘

ここ近年、マイカの漁獲量が減っていて新年を迎えないと獲れないという現状ですが、今回もなんとか確保することができました。今年もおいしい一夜干しを作って江府学園に送るため、地域

の方を講師に迎え、教えていただきました。最初は悪戦苦闘していましたが、少しずつコツをつかみ、最後は上手にさばくことができ、立派な一夜干しが完成しました。



▲講師の先生にコツを教えてくださいました

中学校一日入学

2月3日(金)、6年生は中学校の一日入学に参加しました。生徒会事務局の中学生から、中学校生活についてたくさんのお話を教えてもらいました。6年生が一番驚いていたのは、学習時間。期末テスト前の1週間は、3時間も勉強しているそうです。また、習熟度テストというのが長期休みのあとに行われるため、夏休みや冬休みはこれまでの学習の全範囲を復習する必要があるということも教



西ノ島小中学校

えてもらいました。一日入学後、自学に気合を入れる人が増え、良いきっかけになったと思います。英語の授業体験や部活動体験もさせてもらい、楽しい一日入学となりました。



▲バレー部での部活動体験

中学校

人権集会

1月27日(金)の5、6時間目に生徒会事務局主催の人権集会が行われました。今年度も小学校6年生と一緒に、学校の課題について児童・生徒で話し合いました。「みんなが行きたいと思える学校を目指して」をテーマに「あいさつ」「言葉遣い」「授業態度」の

課題を浮き彫りにし、学校生活をより良いものにしようと考えました。人権に関する課題と言われると堅苦しく考えてしまうかもしれませんが、本来人権は「人が生まれながらにして持っている権利」なので、自分たちの身の回りにある課題について考えることも、人権を守ることに繋がります。児童・生徒一人ひとりが身近なことに課題意識を持って取り組めた2時間となりました。



▲小学校6年生も交えて話し合いました

―生徒が考えた人権標語―

あいさつで

一日の気持ちの良いスタートを切ろう！

3年 山谷 璃空

相手のことを尊重して言葉遣いに気を付けよう！

3年 平木 舞

将来のために

普段からしっかり授業を受けよう

2年 安藤 星

あいさつは その日の始まり 大切に

2年 三島大葵

授業では みんなの学びの 邪魔をしない

1年 向原 颯太

あいさつは 立ち止まって 語先後礼

1年 池田 楓

新入生一日入学

2月3日(金)、新入生一日入学を行いました。4月に入学する小学校6年生に、中学校生活の様子を知り、入学への準備や心構えを持ってもらおうと企画しました。生徒会事務局が中学校での行事や生活などについて、パワーポイントを用いて具体的に説明し、中学校1年生は、新生活を迎える6年生の不安を少しでも解消しようと、学校生活についてのアドバイスを送りました。保護者の方々には教職員からの学校説明や親学

プログラムを実施しました。6年生からは中学校生活について率直な質問が飛んでいました。放課後は部活動を見学・体験し、中学生ともふれ合いながら、入学への期待を膨らませた様子でした。



▲生徒会事務局による説明の様子



▲教職員による説明の様子